

Kobayakawa Shusei: A Life of Journey and Requiem

小早川秋聲

旅する画家の

鎮魂歌

レクイエム



《長崎へ航く》(部分) 1931年 個人蔵

《國之楯》を描いた日本画家、
初の大規模回顧展！

2021年
8月7日(土) — 9月26日(日)

【開室時間】午前10時～午後6時 ※金曜日は午後7時30分まで(入場はそれぞれ30分前まで)
【休館日】月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)
【主催】京都府、京都文化博物館、京都新聞、BSフジ、ライブエグザム
【特別協力】京料理 濱登久
【協力】日南町美術館
【オフィシャルロジスティクスパートナー】TERRADA ART ASSIST 株式会社
【後援】(公社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

THE MUSEUM OF KYOTO 京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三條高倉
TEL.075-222-0888 FAX.075-222-0889
www.bunpaku.or.jp



初 での大規模回顧展！ 開の作品多数！



《恋知り初めて》大正期 個人蔵

戦死した兵士を描いた異色の戦争画《國之楯》。この作品を描いたのは大正期から昭和期にかけて京都を中心に活躍した日本画家、小早川秋聲(1885~1974)です。この度、個人コレクションを中心に、秋聲の初期から晩年にいたる日本画約110点および資料から、その画業の全貌を紹介する初めての大规模回顧展を開催します。

鳥取県にある光徳寺の長男として生まれた秋聲は、9歳で東本願寺の衆徒として僧籍に入ります。その後、京都で谷口香嶠、山元春挙といった日本画家に絵を学び、文展、帝展で活躍しました。しばしば中国に渡り東洋美術を研究、欧州を旅し西洋美術を学ぶなど、旅を多くした画家でもあります。やがて、従軍画家として戦地に派遣されるようになります。代表作《國之楯》は陸軍に受け取りを拒否され、長く秘匿されていましたが、戦後、改作され公開されるに至りました。

本展は、新たに発見された戦争画をはじめ初公開の作品を多数含め、戦争画にとどまらない、秋聲の清新で叙情的な画業を幅広く紹介します。



《聖火は走る》1963年 個人蔵



《御旗》1936年 京都霊山護国神社(日南町美術館寄託)

天覧に供するために陸軍省の依頼で描かれたと伝わるが、完成作は同省に受け取りを拒まれた。絵の裏にはチョークで「返却」と記されている。



《國之楯》1944年 京都霊山護国神社(日南町美術館寄託)

新発見作品。戦場で仮眠をとる
疲れ果てた兵士たちの姿を描く。



《虫の音》1938年 個人蔵



《薫風》1924年 個人蔵



《懺悔》1930年 個人蔵



入場料金

一般	大高生	中小生
1,400円 (1,200円)	1,100円 (900円)	500円 (300円)

※()内は前売り、団体(20名以上)の料金
※入場券1枚につき展覧会入場はいずれか1日1名様
1回限り有効
※未就学児は無料(ただし、保護者同伴)
※学生料金で入場の際には学生証をご提示ください
※障がい者手帳などご提示の方と付き添い1名までは無料
※お得な前売券は2021年8月6日(金)までの期間限定
発売(会期中は当日券のみ)
【主なチケットの販売所】
京都文化博物館、イープラス、ローソンチケット
(Lコード: 52602)、チケットぴあ(Pコード: 685-692)、
セブンチケットほか、主要コンビニエンスストアにて販売。

関連イベント

講演会「《國之楯》へと至る道 小早川秋聲の画業」

日時: 8月21日(土) 10:30 - 12:00
講師: 植田彩芳子(当館学芸員)
場所: 京都文化博物館3階フィルムシアター
定員: 70名
参加費: 無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

申込方法: 要事前申し込み、先着順。往復はがきに住所、氏名(返信面にも)、電話番号を記入し、京都文化博物館「小早川秋聲展」係へ。または、京都文化博物館ホームページ「特別展イベント申込フォーム」から申し込み。
https://www.bunpaku.or.jp/exhi_special/form/



《未来》1926年 個人蔵

THE MUSEUM OF KYOTO
京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 FAX.075-222-0889
www.bunpaku.or.jp

交通案内

- 地下鉄「烏丸御池駅」下車、5番出口から三条通を東へ徒歩約3分
- 阪急「烏丸駅」下車、16番出口から高倉通を北へ徒歩約7分
- 京阪「三条駅」下車、6番出口から三条通を西へ徒歩約15分
- JR・近鉄「京都駅」から地下鉄へ
- 市バス「堺町御池」下車、徒歩約2分